

請願の審査			
件名	提出者	審査委員会	結果
ライドシェアの推進に対する慎重な審議を求める意見書に関する請願について	日本労働組合総連合会北海道連合会清水地区連合会	総務産業 常任委員会	採択
道教委「これからの高校づくりに関する指針」を抜本的に見直しすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書に関する請願について		厚生文教 常任委員会	採択

意見書の提出

次の意見書は第6回定例会において可決され、議会はこれを関係行政庁に提出しました。

- ◆ライドシェアの推進に対する慎重な審議を求める意見書
- ◆林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書
- ◆道教委「これからの高校づくりに関する指針」を見直しすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書

人事

教育委員会教育長の任命に同意

三澤史佐子さん（文京）を教育長に任命することに同意を求める町長提案があり、第6回定例会において議会は同意しました。



三澤史佐子さん

教育委員会委員の任命に同意

小笠原清隆さん（桂町）、川端和仁さん（新興）を教育委員に任命することに同意を求める町長提案があり、第6回定例会において議会は同意しました。



小笠原清隆さん



川端和仁さん

閉会中の委員会活動

総務産業常任委員会

- ①産業振興におけるエネルギー確保について
- ②その他所管に関する事項について

厚生文教常任委員会

- ①ごみ処理の広域化について
- ②その他所管に関する事項について

広報広聴常任委員会

- ①議会広報紙の編集及び発行について
- ②その他議会の広報及び広聴に関する事項について

議会運営委員会

- ①議会の運営とその諸規定について
- ②議長の諮問に関する事項について

議員の賛否公表（賛否等が分かれた案件のみ掲載）

議件番号	議件	大谷	桜井	北村	高橋	佐藤	原	口田	中島	奥秋	安田	西山
請願第18号	ライドシェアの推進に対する慎重な審議を求める意見書に関する請願について（総務産業常任委員会審査報告）	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
議案第64号	平成30年度清水町一般会計補正予算（第6号）の設定について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
議案第68号	清水町教育委員会教育長の任命について	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
意見案第7号	ライドシェアの推進に対する慎重な審議を求める意見書について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
意見案第9号	道教委「これからの高校づくりに関する指針」を見直しすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○

※加来良明議員は議長のため採決に加わっていません。○：賛成 ×：反対 -：棄権

決算剰余金として1億円を財政調整基金に積み立て、残りは平成30年度会計へ繰り越しています。平成26年度以降、債務（借入金）残高は120億円超で推移しており、基金（貯金）残高は30億円超で増加傾向となっています。

本町の財政状況は改善してきていますが、今後は公共施設の老朽化対策等に大きな財政需要が見込まれます。

◎決算審議での質疑と答弁を一部抜粋、要約してお知らせします。

北村議員
公会計システムの導入について、どの程度まで進んでいるのか。
総務課長 平成28年度の決算ベースで財務4表の作成に取り組んでおり、10月末までに完了する見通し。

原議員
町長交際費の支出が年々減ってきているが、意図的に減らしているのか。

総務課長
効果的な運用に努めた結果、減少で推移している。

西山議員
大人の風疹が流行しているが、町として何か対策は考えているのか。
保健福祉課長 保健所等から指示があった段階で対策を進めていく。

大谷議員
農村浄化槽設置事業の補助金に「1人1回、住宅に限る」という利用条件がある。回数を見直し、牛舎や事務所も対象にしてどうか。
農林課長 補助開始から23年が経過しており、回数や条件も含めて見直さなければならぬ。

桜井議員
太陽光発電システム導入奨励金交付事業について、平成29年度の実績はゼロであるが、今後も継続するののか。

商工観光課長
実績はないが、町内事業者の施工を条件としており、継続していきたい。

高橋議員
新聞等で取り上げられていたアイスホッケーのパワハラ問題について、今後このようなことがないように、町としてどのような指導をしていこうと考えているのか。
社会教育課長 非常に残念な出来事。上部団体等とも連携を図り、再発防止に努めていきたい。

奥秋議員
国民健康保険特別会計の高額療養費の保険者（町）の負担額が前年度より減っているが、何か方策を考えて努力しているのか。
保健福祉課長 これまでも特定健診やがん検診を実施しており、病気を早期に見てできれば医療費の減少にもつながるので、これからも多くの方に検診の受診を勧めていきたい。

行政報告

9月11日

農作物の生育状況等について

9月1日現在の主な作物の生育状況等について、7月以降は雨や低温の日が多く生育経過が遅れている。秋まき小麦の10アールあたりの粗原収量は平均7.6俵、春まき小麦は平均5.2俵となった。てん菜は「並」、馬鈴薯の収穫作業は平年より3日早く始まっている。豆類は大豆、小豆、菜豆類とも「やや不良」、牧草は「やや不良」、サイレージ用とうもろこしは「不良」となっている。

北海道胆振東部地震による被害状況について

地震直後の9月6日未明からの停電の影響で、日常生活に支障をきたすことになり、避難行動要支援者208名へ電話で安否確認を行い、援助が必要な方や電話の応答がなかった方61名について、家庭訪問を行い一部食料の提供を行った。また、公衆浴場の無料開放や携帯電話の充電場所の設置を行った。

農業関係については、生乳出荷農家109戸が自家発電や発電機の借り入れ等により、7日夕方には搾乳が可能となったが、受け入れ先の乳業工場が操業を停止していたため、生乳を廃棄せざるを得ず、損害額は8千万円を超える見込みとなっている。

条例の制定・一部改正

- 認定こども園の設置及び管理に関する条例
 - ・平成31年4月から御影保育所が認定こども園（保護者の就労の有無に関わらず利用できる教育・保育施設）に移行することによる条例の整備
- 特定教育・保育施設等の利用者負担金条例
 - ・認定こども園と保育所の保育料を規定
- 保育所条例の一部改正
 - ・保育料の規定を削除（新条例に移行）
 - ・御影保育所の設置の規定を削除
 - ・延長保育を時間外保育に名称を変更
- 選挙ポスター掲示場条例の一部改正
 - ・公職選挙法の一部改正に伴う引用条項の改正
- 町税条例等の一部改正
 - ・障がい者、未成年者、寡婦及び寡夫に対する非課税措置の所得要件の引き上げ（前年合計所得金額125万円以下→135万円以下）
 - ・均等割が非課税となる基準を10万円引き上げ
 - ・基礎控除に所得要件を創設（前年合計所得金額2,500万円超で基礎控除の適用が消失）
 - ・紙巻きたばこの税率を段階的に引き上げ
 - ・加熱式たばこの課税区分を設置